



はちろうがた

2009年6月定例会

第100号

# 議会だより

発行：八郎潟町議会

編集：議会広報編集委員会

〒018-1692 秋田県南秋田郡八郎潟町字大道80

☎ 018-875-5810



小野議長から佐竹知事へ意見書を手交

6月23日、湖東総合病院の移転新築に関わる意見書を県知事に手交。引き続き県議会議長、福祉環境常任委員長並びに各会派へ要望書を提出。その後J A厚生連を訪れ要望書を手交。建設推進について話し合いを行いました。



J A厚生連へ要望書を手交

- ◆ 2～5 ページ ..... 一般質問
- ◆ 5 ページ ..... 委員会審議
- ◆ 6 ページ ..... 意見書
- ◆ 7 ページ ..... 広域組合議会報告
- ◆ 8 ページ ... 請願・陳情／議会のうごき



## 一

## 般

## 質

## 問



金 一義 議員

地域活性化、経済  
危機対策臨時交付  
金の利用について

**問** 政府は「地域活性化・経済危機対策臨時交



湖東地区消防署 八郎潟分署

付金」を21年度の補正予算で実施されますが、総額で1兆円「都道府県、市町村分」となります。そのうち八郎潟町には1億2千600万円の算定額になっています。その概要としては①地球温暖化対策、②少子高齢化の対策、③安心・安全の実現、④その他将来に向けた地域の単独事業の経費等の4本柱

ですが、我が町もこの趣旨を尊重して、生活密着型に配慮し、いかにして地域を活性化するための予算の執行であるか。いま景気悪化、財政危機等、閉塞

感の高まる我が町ですが、交付金の1億2千600万円の活用方法は、以上の趣旨を吟味し町民の生活にどのように反映させようとしているかお聞きします。

**答** 町に交付予定金額は1億2千684万8千円ですが、事業計画としては、①地球温暖化対策事業1件、②少子高齢化の対応2件、③安全・安心の実現に11件、④その他の事業が4件で、総額1億4千419万5千円の計画です。

一般家庭に取り付けの火災報知機に対する町の助成の  
ありかたについて

**問** 私は、この問題を平成19年6月議会で提案し

ています。ようやく、今回火災報知機に対する助成金を予算執行されていますが、しかし、残念ながら対象者は65歳以上の方で3千円の助成金としています。どのような理由での結果なのか。安心、安全を考えると、高齢者のみならず関心のあるものであり、年齢で制限などするべきものではないと考えます。全戸数を対象とするべきではないか。現在のところ八郎潟町の世帯数は、2,498世帯となっていますが、65歳以上に限定された理由が財源「約750万円」の問題だとすると非常に残念です。財源としては、質問1である「地域活性化、経済危機対策臨時交付金」の活用方法もあると思うが、特に子育て中の若い世代にも配慮する必要があると思います。

**答** 予算の執行もありますので、65歳以上の世帯を対象に変わりがありません。

湖東総合病院の  
医師の補充につ  
いて

**問** 湖東総合病院につ

ては、医師の退職者があり、循環器の医師2名、整形外科1名、外科1名の医師等の退職で、地域医療に大きな不安がありますが、また、救急医療「循環器の患者」は秋田組合病院に搬送しているようです。また、外来患者の診察も秋田大学「午前中」、秋田組合病院、フリーの医師の応援で診察をしているが、制約もあると思いますがどのよ



菊地 文人 議員

湖東総合病院に  
ついて

**問** 3月以降の湖東総合病院改築推進協議会の具体的な会議内容を。また、

うになっているか、循環器の入院病室は「20床」閉鎖されています。このように縮小されますと、現在行われている早朝検査が来年以降見直しの制約はないのか、詳しくお知らせください。不足している医師の補充は、関係町村との話がどのように進んでいるか。何時ぐらの見込みで補充を検討されているか御説明ください。

**答** 質問の通りでございます。このままでは、来年の早朝検査も出来かねる懸念がございます。大変苦慮しているところです。

病院の医師不足についての対応、今後の対策と動きは。

**答** 会議は年2回の2・7月なので行っていないし、動きもなし。改築、医師の確保については厚生連側へ強く要望している。

**再問** 秋田県では庁内、東京事務所内に県内の医

療機関での勤務を希望される方に対し、就職先を紹介・斡旋をしているドクターバンク（医師無料職業紹介所）を設置している。また新たに常勤・非常勤医師のほか、学会出張やリフレッシュ休暇を取得する勤務医の代診等に対応するため、1日単位での就業（診療支援）をフォローする「ドクターシヨートサポートバンク」も始めているので、是非病院側へ登録するようにお願いしたい。

**再答** 実際の経営は厚生連側で、県と医師不足について考えていると思う。県の施策についても7月の会議で吟味して対応する。

## 副町長人事について

**問** 副町長空席で2ヶ月が経過し、危機管理の面から様々な問題があるのでは。町長不在時には総務課長が対応しているが、両名が不在時に町に不測の事態が生じた時に

は誰が対応にあたり、代理決裁ができる権限があるのか。

地方分権の進展により、複雑な政策に迅速な判断、意志決定や県内外へのトップセールスの必要性を感じるし、周辺広域自治体との連携関係も大切なところである。その際、業務遂行ができ安心して当局を任せられる役職、副町長は必要だと思うが、お考えを。

**答** 両名不在時は各課長になり、あとは八郎潟町事務決裁規定に基づいて対処している。補佐役の必要性は考えなければと思う。

**再問** 緊急時に各課長による代理決裁となりそうだが、政策決定の重要な決裁について判断させるのは重責しすぎるのでは。瞬時に迅速な意思決定が難しいと思う。そして、ある町では町長、副町長不在で総務部長が職務代理となったが、体調を崩して入院し、代わりに福祉部長が代理となったが、喪中で、ある会議

の挨拶を辞退したという事もある。また、市町村長に権限が集中する事により全国的に様々な不祥事があるので、副町長にある程度の権限を持たせる。要は副市町村長の役割には、独断専横をチェックする役割もあるので副町長は必要です。

## 新型インフルエンザ対策について

**問** 当局の啓発活動、危機管理を含む発生時における対応準備の状況は。また、教育委員会の取り組みと対応は。そして、本町には「新型インフルエンザ対策行動計画」はあるのか。あれば提示を。

**答** 役場内に発熱相談窓口を設置しチラシや防災無線で対応について説明している。本町独自の対策行動計画はないので、早急に作成する必要がある。発生時は災害マニュアル設置基準で職員の動員体制で対応したい。教育委員会も県教育委員会の対策行動計画に従う。

感染状況によっては学校の設置者などに対し、強い臨時休業等の要請を行うことがありうる事となっている。

**再問** 患者発生時には速やかな対応をお願いしたい。また、防護具などは「地域活性化・経済危機対策臨時交付金」の算定対象経費となるので活用してもらいたい。

**再答** 活用する予定。



畠山 金美 議員

## 我が町行政の情報発信力と情報収集力について

**問** 防災無線のさらなる活用として、町民を交えた協議会を立ち上げ、町民の意見が反映された内容での放送計画を打ち出

すのどうか。また、情報を集めるために町民もアンテナになっている中、多くの情報を集約し、整理する専門の部局を設置してはどうか。各課を横断してコーディネートするスピードある機動力を持つ必要があると思うが。

**答** 防災無線は原則緊急時の放送である。その都度、緊急性を判断しているし、定期放送にも様々な勤務状況の方々から苦情も多く、協議会立ち上



湖東総合病院

## 高齢化社会への対応について

**問** 突如として体調が悪化する心臓疾患。救急病院側の受け入れ体制にも

げは無理な状態である。情報収集では、各課においても情報網を張り巡らせている。町民が必要と望んでいる事業や補助制度を把握し、町民と連携してやっていくので、専門の部局ではなく、各課で対応していく。





ゴミ収集車

不安が生じている昨今、町民の救急医療に対する意識づけを強力に指導していく必要があると思う。

AEDの設置に伴う操作法と心肺蘇生術を画像収録し、施設へ設置する必要があるのでは。

**答** 現在4台を設置しているが、防災センターや保健センターなどの町民が多く集まる施設を対象に10ヶ所程度の増設を検討している。消防署員を講師として、応急手当講

習会を毎月第一日曜日に湖東地区消防署で開催している。町内会や民生委員会でも過去6回ほど行われているが、今後とも町民や団体等に周知し、講習会の実施の推進を図っていきたい。

## 生ごみ処理と環境対策について

**問** 町は生ごみを堆肥資源化するノウハウを持ち合わせているのに、なぜ本腰をいれないのか。

水切りや堆肥化によって灰にならないお金は、町民が作り出す立派な財源である。その生きたお金を還元することにより、地域活性化が図られるような施策を検討する考えはないか。焼却灰の安全性と町処分場内の水処理施設の処理工程と検査機関とデータ公開は。

**答** 1年の可燃ゴミの搬入量は1,455トンで、



北嶋 賢子 議員

## 学校や老人施設等の給食に安全安心な地元産の野菜の活用を

**問** 今程食の安全が問われている時は無いと思いません。給食委員会を立ち上げて、今地元で何の野菜が採れているか。不足分は他から用意しても、

1トン当たり1万2千432円になり、1千800万円程度かかったことになる。古紙回収からの収入金還元事業は展開しているが、生ゴミでは処理施設費に伴う償還金を考慮しながら、町内会と相談しながら検討していく。

焼却灰と水処理の安全性は基準をクリアしており今後とも注意深く監視していく。

なるべく町内の農家からの野菜を使って欲しい。農家毎に自慢の野菜があり、安全・安心な野菜を町の子ども達に食べさせたいと願っています。

**答** 町の学校給食での野菜の使用は約20品目。県内産野菜の使用率は、ネギ90%、ほうれん草27%、キャベツ8%、大根1%。じゃがいも、人参、玉ネギは県外産、町内産野菜は、安全性の確認、価格の調整、必要量の確保、生産農家の負担も予想される事から考えていない。

## 町民からの町づくりの提案推進に専任職員の配置を

**問** 高岡を中心に耕作放棄された田畑を耕して花や野菜を植えている、高岡フラワーベジタブルという会があります。県からも現地視察に訪れ、元気村推進チーム集落訪問として県庁のホームページにも載りました。町づくり課のある自治体もあります。町民達が町づくりを進めて行く中で積極的に県とのパイプ役となる職員が必要かと思うが。

**答** 本町の施策として町民協働の推進を掲げている。各種団体の活動に職員の支援や助成を行っている。高岡フラワーベジタブルが県の農村活力向上モデル事業に応募されたが残念ながら該当にならなかった。町では事前調査の立ち会い、申請書の準備、意見書の添付の支援をした。県の農業夢プラン1/3事業は、平成18年度枝豆栽培機。平成19年度水稻直播き機械。平成20年度長ネギ栽培機械、各1農家を申請する等、県との間で事業



むらくもの滝

を進めている。今後共、どの部署にいても県とのパイプ役に務める様指導する。

## むらくもの滝駐 車場までの林道 の舗装を

**問** 最近浦城跡へのハイカーが増えています。むらくもの滝も史跡のひとつであり駐車場からは城跡も近く舗装すると林道も傷まないと思うが。

**答** NPO法人浦城の歴史を伝える会や地域の努力により浦城跡が整備され観光客が増えている。今年度より、県の水と緑の森づくり税の補助金を活用し3年間で総事業費660万円。台風被害の高岡山いこいの森、むらくもの滝周辺の斜面保護や遊歩道の整備をする。むらくもの滝も観光客が見られるが充分な交通量は無い。毎年、草刈り、碎石補修を行い良好に通行出来る状態にあり舗装までは考えていない。

# 各常任委員会の審議

## 総務教育常任委員会

### ◆教育課関係

**問** 弁天球場時計修理に関して、以前にも修理の経緯があり、今後も落雷被害や自然災害による故障が予想されることから、何らかの

対策を講ずるべきではないか。また、男子トイレが使用禁止となっていたが。

**答** 平成13年に約70万円で修理しており、対策を検討する。トイレについても中学校総体があるので早急に対処する。



**問** 小学校体育館耐震改修工事設計業務委託の発注はいつからか。また、工事についてはどの部分で必要なのか。

**答** 予算通過後、順次進める。工事は体育館屋根裏部分。

**問** 中学校グラウンド改良工事設計の入札は何か。また、工事の入札は何か。

**答** 設計は2社。工事については、予算通過後進める。

## 民生産業常任委員会

### ◆八郎潟町企業誘致促進条例を制定する条例案について

本会議において、この件について議員から意見が出されたことにより、本委員会においても慎重に審議がなされました。

当初の条例案に盛り込まれた、第2条第5号「厚生年金及び雇用保険の適用を受ける1年を超えて常時雇用される従業員で、町内に住所を有する従業員をいう。」の条文に対しては、

本来の誘致促進という目的に対し、当局側の地元雇用の促進、住民税の増収、人口増などに寄与するという趣旨は理解できるものの、その規制が前面に出すぎ、企業側の進出意欲を損なう恐れが発生するのではないかと、よって「町内に住所を有する従業員」を削除すべき修正案を提示しました。

しかし、第4条第2号の、雇用助成の条文「事業所の新設又は増設に伴い、新たに採用された常時従業員の数に20万円を乗じて得た額を一年間……」では、町内に住所を有する条文を挿入する様求め、「事業所の新設又は増設に伴い、新たに採用された町内に住所を有する常時従業員

員の数に20万円を乗じて得た額を1年間……」に修正し、企業側と当局側に沿った修正案を全員一致をもって可決すべきものと決定しております。

### ◆平成21年度一般会計補正予算「第1号」について

林業振興費の予算では、寒ノ神公園の植樹について説明を受け、人集めに寄与する公園整備に役立てるべきとの意見が出されました。全町テーマパーク化にする案としては、盆踊りに咲く花（さるすべり）にして、町の中へも増やし、やがては花祭り盆踊りの連動開催に発展させていくような構想案も出されております。





## 医師不足の解消と地域医療体制の

### 確保を求める意見書

近年、全国的に医師不足が深刻な問題となっています。地域住民が安心して生活するためには、救急医療や産婦人科・小児科医療など必要な医療サービスがいつでも利用できることが重要であり、こうした医師不足問題の解消は喫緊の課題であります。また、医師・看護師等の不足による過重労働は、産科や小児科、救急医療をはじめとする地域医療全体に深刻な影響を及ぼしています。医療関係者が働きがいのある医療現場を確立するための環境整備と支援体制の充実・強化が必要であります。

よって国においては、医師不足を解消し、安心できる地域医療体制を確保できよう、次の事項について対策を講じられるよう要請します。

#### 記

- 1 地域医療再構築のための、医療費財源を確保すること。
- 2 救急医療体制・周産期医療体制の維持と支援策を拡充すること。
- 3 診療報酬の抜本的な見直しによる、小児科・産婦人科などの医師不足、そして、医師の充足における地域間格差が解消されるようにすること。
- 4 臨床研修制度を見直し、大学医局の医師派遣機能を回復するなど、医師が地域医療へ適切に確保されるようにすること。
- 5 女性医師の仕事と生活の両立を図る支援策を充実すること。
- 6 リハビリテーションの日数制限や入院日数の短縮を改善すること。
- 7 看護師・助産師の不足に対して積極的な対策を講じること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

平成21年6月23日

秋田県八郎潟町議会議長 小野 廣

内閣総理大臣  
財務大臣  
文部科学大臣  
厚生労働大臣  
様

## 湖東総合病院の移転新築計画の

### 促進を求める意見書

湖東総合病院は、地域の中核病院として、長く住民に愛され、歴史的にも大きな役割を果たしてきました。しかし、昭和43年開院と40年以上経過し、老朽化、狭隘さ、設備の立ち遅れなどが進み、さらに、最近では医師不足の問題などもあり、このままでは病院経営の存続も危ぶまれる事態に至るのではないかと心配されます。

加えて、昭和58年及び平成19年改正建築基準法による要件を満たしていないとすれば、大規模災害があった場合、多数の人命にかかるとの事象も予想され、このまま放置して置くことは出来ません。

平成14年11月には建設予定地が完成し、平成18年11月には関係4町村（五城目町・井川町・大潟村・八郎潟町）と秋田県厚生農業協同組合連合会（以下「厚生連」という）との間で建設事業費の20%負担についても協定を締結しています。平成23年4月開院を目指し期待が高まっていた矢先、突然計画が頓挫しました。

県財政も厳しい中ではありますが、県の医療保健福祉計画における厚生連病院の位置づけ、地域住民の不安解消のためにも、建設計画が具体的に進展されるよう、県からのご支援と厚生連に対する働きかけを強く要望するものであります。なお、厚生連サイドから打診のある、公設民営方式は関係4町村の規模では無理があると判断されますので申し添えます。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

平成21年6月23日

秋田県八郎潟町議会議長 小野 廣

秋田県知事 佐竹 敬久 様



\*広域組合議会報告

八郎潟町・井川町衛生処理施設組合



伊藤 秋雄

○本町の議員  
伊藤秋雄  
伊藤祐孝  
八柳賢子  
北嶋

八郎潟町・井川町衛生処理施設組合の施設運営の概要についてご報告いたします。

○管理者等 管理者 八郎潟町長  
副管理者 井川町長

○議員構成 八郎潟町 3名  
井川町 3名

○予算関係

○歳入・歳出 7千279万円  
(前年度7・0%の増)

・歳入の内訳

八郎潟町 2千692万3千円 負担金  
井川町 2千311万3千円 負担金  
交付税分 1千961万3千円  
人口割 80% 平等割20%  
(人口は本町 6,936人  
井川町 5,738人で算出)

使用料 213万5千円

繰越金等 100万6千円

・歳出の内訳

議会費 21万8千円  
総務費 2千97万円  
衛生費 1千253万8千円  
公債費 3千806万4千円  
予備費 100万円  
となっております。

施設の供用開始から12年を経過し、両町の下水道整備事業が進むなか、し

尿の搬入量は年々落ち込んでおります。また今後、組合の維持管理費についても両町の負担割合が年々増加する傾向にあります。

平成20年度のし尿及び浄化槽汚泥の搬入量は1,762吨(キロリットル)で、平成19年度と比較して24.2%の減、開始当初の平成9年度4,451吨と比較すると2,689吨、約60%の減の搬入量となっております。

こうしたことから、施設の使用料金を平成20年4月1日より1円当たり70銭から1円50銭に、また一般家庭の汲み取り料金も1円当たり7円から10円に改定しております。この使用料金の改定による収入は、平成19年度174万9千783円に対し、平成20年度277万5千402円で102万5千619円の増となっております。今後、施設の維持の観点から、し尿の搬入量の推移を見ながら段階的に改定する必要があると報告されております。

施設の運営については、し尿処理人口が減少しておりますが、本町並びに井川町に於いても集落排水施設(八郎潟町・井川町ともに2施設)及び合併浄化槽による汚泥処理や公共下水道への接続が出来ない世帯などについては、継続して処理をしなければなりません。従いまして、今後も本組合施設は存続して運営をする必要があると考えます。

なお、償還は平成23年度までとなっております。

以上、八郎潟町・井川町衛生処理施設組合の状況の報告とします。

八郎湖周辺清掃組合



金 一義

○本町の議員  
金一義  
金美  
畠山

平成21年度八郎湖周辺清掃事務組合一般会計予算は、組合市町村から搬入されるゴミの処理に係る施設の維持管理及び、組合債の償還金等を措置したものであります。歳入歳出予算の総額を3億3千216万円とし、前年度比2千412万円増で7・8%の増です。

大まかな内訳として、同センターの運搬業務委託料1億4千万円、焼却炉などの清掃点検費800万円、脱臭用活性炭交換費として371万円などです。

組合管理者から本年度のゴミ処理実績見込みについて「可燃ゴミの処理量は計画通り1万6千800トン程度で、処理量に対する焼却灰の発生率は計画値より2%少ない13%以下」になると試算していると、組合の本年度の基本計画を述べています。

また本年度の、各組合の負担金は、全体で2億9千745万円です。本町の負担金は約3千270万円となっております。

次に、監査委員の選任についてであります。これまで、本組合の議見を有する監査委員は、井川町監査委員の工藤侑氏でありましたが、ご本人から、本年4月25日の任期で勇退したい旨の申出がありましたので、後任の監査委員に、八郎潟町監査委員の貝田道三郎氏を選任いたしました。

湖東地区行政一部組合



村井 剛

○本町の議員  
村井剛  
村地文人  
近藤喜雄  
三戸留吉 (団長)

○広域合併問題について

当初、平成21年度より合併する方向で協議が進められてまいりましたが、諸般の事情により、平成22年度において合併する方針である。合併にあたり、本町議会において、その内容を協議して来ておりません。

今後、詳細な内容の資料の提示を求め、充分な検討を行なう必要がある。

○予算(21年度)

歳入、歳出総額 5億4千914万7千円  
(前年比6・3%減)

○歳入の主なもの

構成市町負担金 5億4千70万9千円  
(前年比0・59%増)

○歳出の主なもの

職員人件費 4億9千154万7千円  
(全体の89・5%)

○職員 消防65人(八郎潟分署16人) 斎場1人  
出勤等(20年1月〜12月)

|    | 八郎潟町 | 井川町 | 潟上市飯田川 | 潟上市昭和 |
|----|------|-----|--------|-------|
| 火災 | 0    | 1   | 1      | 2     |
| 救急 | 199  | 166 | 134    | 208   |
| 斎場 | 92   | 68  | 61     | 88    |
| 動物 | 19   | 12  | 26     | 24    |



## ■ 請願・陳情

| 受理番号 | 受理年月日       | 件名 | 氏名                        | 件名                                       | 付託委員会 | 本会議結果 |
|------|-------------|----|---------------------------|------------------------------------------|-------|-------|
| 4    | 21年<br>6月2日 | 請願 | 農民運動秋田県連合会<br>委員長 佐藤 長右衛門 | ミニマムアクセス米の輸入見直しに関する請願                    | 民生産業  | 不採択   |
| 5    | 21年<br>6月2日 | 請願 | 農民運動秋田県連合会<br>委員長 佐藤 長右衛門 | 農地法の「改正」に反対する請願                          | 民生産業  | 不採択   |
| 6    | 21年<br>6月2日 | 請願 | 秋田県米価対策共斗会議<br>議長 佐藤 長右衛門 | 政府が自ら決めた備蓄ルールに基づいて、20万トン規模の政府米買い入れを求める請願 | 民生産業  | 採 択   |



## 議会のうごき

### 4 月

- 5 日 消防団春の駆付訓練
- 7 日 八郎潟小・中学校入学式
- 8 日 八郎潟幼稚園入園式
- 17日 例月出納検査
- 24日 戦没者追悼式
- 27日 八郎潟霊園管理組合総会

### 5 月

- 7 日 郡議長会連絡協議会臨時総会
- 8 日 秋田県町村等監査委員協議会  
議会事務局職員研修会
- 14日 町村議会議長会理事会
- 16日 八郎潟小学校運動会
- 18日 例月出納検査

19～20日 全国町村議会議長・副議長研修会  
(於東京)

27日 第4回臨時会

### 6 月

- 1 日 高度浄水処理施設通水式（浄水場）
- 3 日 議会運営委員会 広報編集委員会
- 10～11日 6月定例会
- 15日 財務行政懇話会
- 18日 例月出納検査
- 21日 関東地区ふるさと会
- 22日 広報編集委員会
- 23日 県知事へ、「湖東総合病院の移転新築計画の促進を求める意見書」手交  
厚生連に要望書を手交
- 28日 消防団小型ポンプ操法競技会・規律訓練大会

## 編集後記

記念すべき「第100号」の担当として、歴代の編集委員会、議員各位に感謝申し上げます。第1号の発刊が昭和46年5月と伺いました。文中に「町民皆様のご批判とご指導を頂き、町民の意思に添う議会活動を進めたい」とあります。議会は、条例や事業、予算を決定する議事機関であると共に、町民の声を反映した行政を行っているかをチェックします。また最近、「議会基本条例」の制定、「議会報告会」など新しい発想に基づき、独自に議会改革を進めている議会も知るところです。

今後は、住民参画の代名詞とも言える町総合振興第5次基本構想、まちづくりの将来像の「町民と行政が手を携えるまちづくり」を「議会だより」が架け橋となり、議会が身近になる様に判り易い編集に努めたいと思いますので、ご愛読を宜しくお願い致します。

(ふみと)

### ◆議会広報編集委員会

委員長 北嶋 賢子  
副委員長 菊地 文人  
委員 近藤 美喜雄  
島山 金美  
小野 廣  
三戸 留吉